

「家庭総合」シラバス

| | | | | | | | | | |
|-------|--|----|----|----|--|---|----|-----|---|
| 学科 | 商業科 | 学年 | 3年 | 類型 | | 組 | 5組 | 単位数 | 2 |
| 使用教科書 | 高等学校 新版 家庭総合 とともに生きる・持続可能な未来をつくる (第一学習社) | | | | | | | | |
| 副教材等 | 「2022 最新 生活ハンドブック 家庭科 資料+成分表」 (第一学習社) 令和4年度「家庭科ノート」 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) 令和5年度「調理実習ノート 基礎編」 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) | | | | | | | | |

1 学習の到達目標

- (1) 「生活の科学と文化」という視点から、総合的な考え方・取組を習得して、視野を広げ、生活の充実を図る。
- (2) 自身の生活や地域の生活に関心を持ち、課題を見だし、より豊かなものにしていくために必要な知識と技術を習得し、より良い生活を創造する能力と実践的態度を身に付ける。

2 学習評価

次の4つの観点に基づき各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、100点法で評価し、学年末に5段階の評定に総括する。

| | | | | | | |
|------------|--|---|---|---|---|--------------|
| ①関心・意欲・態度 | 食生活、高齢者の生活と福祉、住生活などについて関心を持ち、その充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。 | | | | | |
| ②思考・判断・表現 | 食生活、高齢者の生活と福祉、住生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して思考を深めているか。 | | | | | |
| ③技能 | 食生活、高齢者の生活と福祉、住生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けているか。 | | | | | |
| ④知識・理解 | 食生活、高齢者の生活と福祉、住生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けているか。 | | | | | |
| 評価方法 | 観点 | ① | ② | ③ | ④ | 備 考 |
| 授業準備の点検 | | A | - | - | - | 授業の準備についての点検 |
| 学習状況の観察 | | A | B | B | - | 自己評価の実施・取組状況 |
| ノート・プリント提出 | | B | A | B | C | 授業後必要に応じて提出 |
| ペーパーテスト | | - | B | C | A | 定期考査 |
| 実技 | | B | B | A | - | 実技テスト・制作物の観察 |

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

3 学習の計画

| 学期 | 学 習 内 容 | 学 習 の ね ら い |
|-------------|--|--|
| 一 学 期 | 6 食べる 1節 人の一生と食事 2節 栄養と食品 <調理実習・朝食> <調理実習・炒飯他> <調理実習・五目とり飯他> <調理実習・エビピラフ他> 3節 食生活の安全のために | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の食生活を振り返り、健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高め、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。 ・ 健康な生活を送る上で必要な栄養素とおもな働きについて理解し、食品の栄養的特質や調理上の性質について理解する。 ・ 基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 ・ 炊飯の要領を理解する。みそ、卵、乾物の調理法を学ぶ。 ・ 炒め物の要領を理解する。塩くらげ、寒天の調理法を学ぶ。 ・ 炊き込み飯、あえ物の要領を理解する。だし汁の取り方を学ぶ。青菜、たけのこの調理法を学ぶ。 ・ ピラフの要領を理解する。卵黄の調理性を利用してマヨネーズを作る。 ・ 食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 |
| 二 学 期 | <調理実習・ランチ> <調理実習・マフィン他> <調理実習・弁当料理> <調理実習・郷土料理> 4節 食生活をデザインする 8 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択 3節 これからの住生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・ マッシュポテト、揚げ物の要領を理解する。パスタの扱い方を学ぶ。 ・ 小麦粉の種類と膨化について理解する。天火の扱い方を学ぶ。 ・ 弁当料理の条件や弁当箱の詰め方を理解する。 ・ 栄養・嗜好・予算・調理時間を考えて合理的に行う。 ・ 地域の食材とその調理法を理解し、伝統文化の大切さを学ぶ。 ・ 生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。 ・ 無駄のない食材の使用や、環境に負荷をかけない食生活上の工夫を考える。 ・ 住居の機能や間取りの基礎知識を学ぶ。 ・ ライフステージにあった住居を考える。 ・ 住居を選ぶ際、住環境や地域社会とのつながりを理解する。 ・ 地域社会と住まいとのかかわりについて考え、持続可能な住生活について学ぶ。 |
| 三 学 期 | 9 生活をデザインしよう | <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を踏まえ、生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。 ・ 自分の目指すライフスタイルを考え、生活設計を立てる。 |